
異説故事成語『推敲』

平均王子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

異説故事成語『推敲』

【Nコード】

N5628G

【作者名】

平均王子

【あらすじ】

僧ハ推ス月下ノ門にするか、僧ハ敲ク月下ノ門にするか……迷いに迷っているところにある者が通りかかり……!?

昔、詩句をなす者（漢詩を作ろうとしている人）がいて『僧ハ推ス月下ノ門』という句を考えつきました。

しかし『僧ハ敲ク月下ノ門』にしたほうが良いだろうか、とも思
い、たいそう悩みました。

ある者が通りかかったので、詩句をなす者が『推ス』が良いか『
敲ク』が良いかを相談してみたところ、

「それは『敲ク』の方が良いでしょう。そちらの方が、音を響かせ
る風情があって、詩に奥行きを持たせられます」

と言われたので、大いに感じるところがあり、『敲ク』の方にし
ようと思いました。

それを聞いていた別のある者がいて、こう言いました。

「音で奥行きを持たせるといふのなら『碎ク』はどうかね。『僧ハ
碎ク月下ノ門』これならば『敲ク』よりも、さらに深い奥行きを持
たせられると思うのだが」

「いえ、音が大きければ良いいうものでも。風情が欠片も感じら
れませんし」

すると、また別のある者が来て言いました。

「では『跳ブ』はどうでしょうか。『僧ハ跳ブ月下ノ門』これなら
ば、空間的な奥行きと躍動感を併せ持つ、良句と言えないでしょう
か」

「言えません。夜間に門を飛び越えていたりしたら、それは泥棒で
す。重ねて言いますが、風情は大事です。あと、どうでもいいので
すが、なにげに凄い跳躍力ですね」

さらに別のある者が現れて言いました。

「色彩的な奥行き。『僧ハ燃ヤス月下ノ門』煌々と照る月光に紅蓮
の炎が映えて」

「格好良さに誤魔化そうとしても放火魔です、それは。さっきか

ら犯罪を犯そうとばかりしていますね、この僧は」

別のある者が言いました。

「僧ハ萌エル月下ノ門」

「どこに萌え要素が？ 極々一部のマニアの方にしか通じません」

「僧ハ話ス月下ノ門」

「確実に鬱病でしょう。ゆっくりと静養して下さい」

「僧ハ雄^{オス}月下ノ門」

「もうただのダジャレですね、それは。ですが、微妙にハードボイルドチックで、意外と有りかも、と思った自分が悔しいです」

「僧ハお酢月下ノ門」

「僧ハ押忍！ 月下ノ門」

「というより、ある者の人、何人いるんですか？ 本当にちよっ

……」

「僧ハ……」

「僧ハ……」

「僧ハ……」

「………！ ………！ ………！」

この故事から、文章を何度も練り直して、より良くしようとすることを『推敲碎跳燃萌話雄お酢押忍！ ………』というようになり、短縮して単に『推敲』といったりもします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5628g/>

異説故事成語『推敲』

2010年12月11日00時25分発行